



Rotary  
Tsuruoka West



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区方針 **「中核的価値観のもと、時流対応の時」奉仕の心の醸成と実践するロータリアン**

第2590回例会 2022年4月11日(月) 会場: グランドエルサン

◆会長 渡部 芳幸 ◆幹事 池田 拓弥

### 会長挨拶 渡部 芳幸 君



先日から暖かい陽気に恵まれ、私は昨日Tシャツで過ごしていました。鶴岡公園の桜も咲きだしたようです。先週は二四節気の清明でもあり、ようやく動き出す季節になりました。

さて、今日は例会に募金箱を設置させていただきました。先月の会長挨拶でも話をしましたが、現在鶴岡市において、日本赤十字社が実施する「ウクライナ人道危機救援金」の受付が行われており、鶴岡市を通じ支援をしたいと思っております。

皆様ご存じの通りウクライナでは、各地で激化した戦闘により、多くの死傷者やインフラ被害が発生し413万人を超える人びとが、周辺国であるポーランド、ハンガリー、スロバキア、モルドバ等に避難しています。

その中のモルドバ共和国は鶴岡市が東京2020オリンピック・パラリンピックでホストタウンを務めており、モルドバ共和国にはウクライナから39万人以上が避難しており、救済活動が行われているところです。

改めてモルドバ共和国を調べてみました。モルドバは1991年暮れのソ連邦崩壊に伴って誕生した新興独立国の一つであり、ウクライナの南西側に隣接し、面積は日本の九州と同じくらいの広さで人口は264万人です。また、ロシア軍の駐留するトランスニストリア地域が「独立」を宣言し、1992年には本格的な武力紛争であるトランスニストリア紛争に発展しました。現在は停戦状態にあるが、モルドバ政府の実効支配が及んでいません。

日本の外務省のホームページで情報を見ると欧州最貧国と呼ばれているそうです。それでも11年前の東日本大震災の際にモルドバ共和国が日本に720万円の寄付を寄せていたことが書いてありました。

ロシアによる侵攻が長引く中、ウクライナから国境を越えてモルドバへ入る避難者は日に日に増え続けています。大使館によりますと、避難者は39万人。モルドバ共和国の人口が264万人なので、実に国の人口の10分の1以上の人が押し寄せたこととなります。

モルドバ政府はかつてない数の避難者たちに宿泊施設や食糧、医療など必要な支援を提供するために大きな経済的支出を強いられながらも、受け入れを続けています。大使館は、受け入れを続ける理由として、1990年代に国内で起きた軍事紛争で多くの難民を出した経験をもとに、次のように説明しています。

「予想外の支出に公的予算は圧迫されています。しかし隣人を助けるのは当たり前のことです。私たちは戦争から逃げるのが何を意味するのかを、悲しい過去の経験から知っているからです」

戦争のない永遠の平和と文化の構築を宣言した平和都市として、また、モルドバ共和国のホストタウンとして、そして、ロータリアンとして本救援金の活動を推進してまいります。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

幹事報告 池田 拓弥 君



・ 幹事報告はございません。

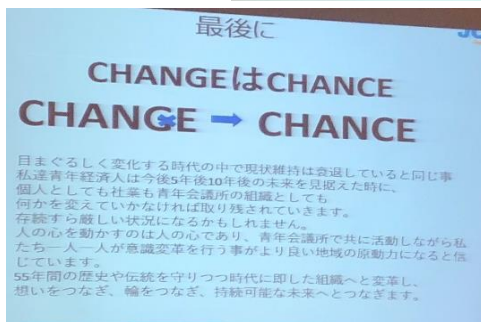
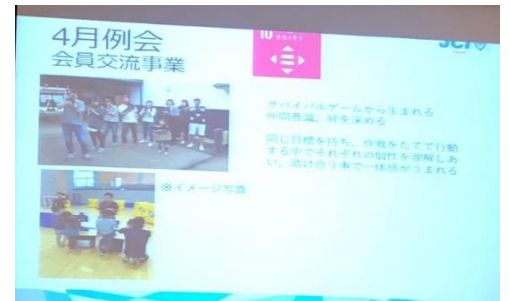
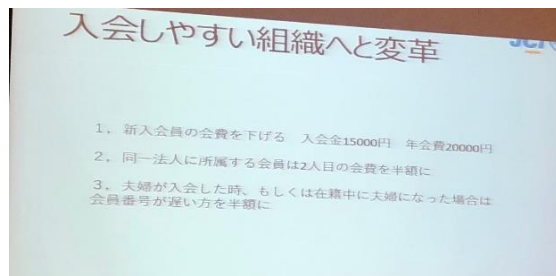
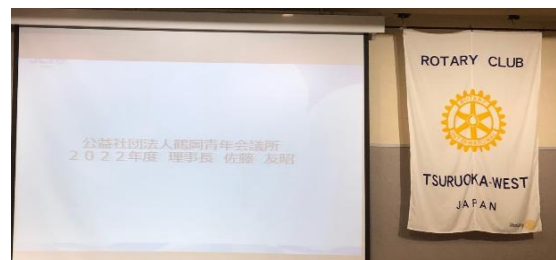
誕生祝い

4月 池田 拓弥 君



ゲストスピーチ

鶴岡青年会議所  
理事長 佐藤 友昭 様



ニコニコBOX

- ・ 佐藤 一嘉 君 佐藤友昭理事長 本日はありがとうございます。ぜひ本年は赤川花火大会を盛大に開催してください
- ・ 池田 徳博 君 今日からバーチャルで規定審議会に参加しています。昼夜逆転で体力勝負です。
- ・ 池田 拓弥 君 先週例会お休みさせていただきました。皆様コロナ感染気を付けてください。
- ・ 渡部 芳幸 君 本日は佐藤友昭理事長ありがとうございます。1年間頑張ってください。皆様、ウクライナ支援の募金ありがとうございます。

本日の出席	会員数	29名	出席数	20名	出席率	68.97%
前々回の出席	出席率	57.14%	修正出席者数	19名	確定出席率	67.86%